



会議議事録

会議名	2021年度 第3回 認知症対策検討委員会 会議
-----	--------------------------

開催概要

開催日時	2022年 3月 1日 (火) (16:50 ~ 17:10)
開催場所	Web 会議
出席者	担当常務理事/委員長: 田中 志子 副委員長: 山口 晴保 委員: 緒方 千代美、坂野 ゆかり、砂川 直美、中間 浩一、山本 恵利香、吉田 賢史、萩原 洋平 敬称略

議事内容	
<p>【研修会を終えての印象と次年度に向けて】</p> <p>研修会については、実際の臨床で明日からすぐにでも実践できるようなヒントを講義の中でいただいて、それを踏まえてグループワーク（以下、GWと称する。）で話ができ、GWが少人数（4人）だったこともあり意見が出しやすい、緊張も少なく意見交換がしやすい環境でやり取りができた。少人数の方がオンラインでのGWは実施しやすいように感じた。それぞれの病院・施設がコロナ禍で認知症の人にどう対応したら良いのか悩みながらも様々な工夫をされていることが知れたので取り入れていきたい。臨床で悩んでいることが皆さん多いので、今回のように明日からでも活かしていけるような研修会を求められているように改めて感じたので、次年度もこのような研修会が行えればと思う。（坂野）</p> <p>GWでは多職種の方が参加されていて、いろいろな視点での話ができて面白かった。経験年数の違いやいろいろな年代の方でそれぞれの現場で行っている対応等の意見交換ができ、若い方も学びがあり、逆に若い方の視点が加わることで今までやっていたこととは違った視点を得られ、とても有意義な時間になったと感じる。実際に行って効果があったことなどの意見交換ができ、明日から使えるものや実際にやってみようとの話も出ていたので、少人数でのGWの良さを感じた。次年度については、コロナ禍でまだ落ち着きが見えないので、オンラインで行うのであれば、GWは少人数の方が意見を出しやすいところがある。ファシリテーターや司会が設定されていることで一人ずついろいろな意見を出せるので、同じような形でテーマを変えて研修会をやっていけると良いと感じた。（吉田）</p> <p>次年度もオンラインが良いと思う。講義にあったようにBPSDが出現した前後はどうだったのか考え、メッセージを受け取るというところを理解することで安心や落ち着いたケアになる。これは職員だけでなくご家族にも役立つと思う。現場で困ったことに対して、それがなぜ起こったのか理解できるような研修会がまた実施できれば良いと思う。楽しくケアができるようになっていければと思う。（中間）</p> <p>GWとしては、職種が偏りなく様々かつ人数も少なかったので何順も意見を出し合いやすかった。また、参加者一人ひとりが多くの発言ができて良かった。熱心に参加して下さっていた印象がある。研修会全体としては、伊東先生の講演を初めて聞かせていただいたがとても楽しかった。来月からは</p>	



新入職の方が入ってくる時期なので、職員育成に取り組まなければいけないところで、現場で困ったことが起きた時のアドバイスや、ケアプランに活かせるような内容が具体的にたくさん教えてもらえた。また、現場に持ち帰りやすいので個人的にも有難かった。講義を受けてからのGWは検討テーマに入り込みやすいし、意見が出しやすいので非常に有効な手段だと思う。今後に関しても、このような形での研修会が望まれると思う。また、現在直面している課題として、コロナ禍における外出・外泊・面会ができない中での認知症の方への支援ポイント等が挙げられるので、そういったテーマでも考えていければと思う。(砂川)

GWについては、少人数で行うことで発言する機会が増え、参加するという意味で良いGWになった。BPSDに対してどのように対応しているか、各病院・施設での取り組みを意見交換でき良かった。講演を基に、BPSDを予防する視点やBPSD出現前にどのようなことがあったのか等、講義内容を活かして話し合えたので良かった。次年度については、研修会はこのような形で行っていただけると勉強になる。個人的には経験を積んでファシリテーターとしてのスキルを上げていければと思う。(萩原)

GWは、参加者それぞれの経験に基づいて、また講義にあった不同意のメッセージを織り込みながらディスカッションが活発にできた。ディスカッションが自立した形でできていたので、ファシリテーターは容易だった。伊東先生の講義は何度聞いても面白い。個人的にも意識を持ちながら関わっていくことをこの研修会を通して学びなおせたので良かった。今後の研修会においては、オンラインであっても今回の研修会のように明日からでもすぐに臨床で活かせるような研修の場を提供できることを感じているので、次年度も続けていければと思う。(山本)

ファシリテートしやすいGWの人数割りでとても行いやすかった。初めは戸惑いも見られたが、参加者同士で意見交換・共有ができていた。また、講義もとても面白かったので、第二弾があっても良いと思う。(緒方)

各グループの発表を聞いていてレベルが高いと感じたので、研修会自体も上手くいったと思う。せっかく各グループから意見が出てきたので、その意見をまとめたものを参加者に配布できれば良いと感じた。一つの方法として、各グループがチャットに書き込みをすると記録に残せる。ただし、GW後に全体に戻ってから書き込むことになる。あとは、伊東先生と一緒に「認知症ケアの達人をめざす」という本を去年出版し、その本の第二章を伊東先生が書いており不同意メッセージについて詳しく解説しているので、今日の講義の捕捉になると思うので是非読んでほしい。(山口副委員長)

【総括と次年度の計画】

委員の意見をまとめると、オンライン研修でも4・5人だととても良いディスカッションができるという意見になる。実際に同じぐらいの人数でオフラインで行った時は人数が少ないことで、隣のグループの話も聞こえてしまい集中できずやりにくかった経験もある。ブレイクアウトルームだと隣が見えないので、グループ毎にディスカッションが深まる場所があるので、ファシリテーターが付けばオンライン研修も悪いことはないと思う。コロナ禍の情勢が読めないため、状況によってオンラインで



はなく初めからオンラインで研修会を組む方が良いと思う。伊東先生の講義はとても好評でしたので、暫くは伊東先生にシリーズでお願いします。認知症ケアの入口のところの研修になるので、伊東先生のご都合を踏まえて年に1回はオンライン研修会を組んでいく。今回の研修の第二弾を来年度に1回行う。研修会も年に1回だけだと足りないと思うので、もう1回別の研修会を企画していきたいと思う。委員の皆さんから提案があれば伺いたいので次回の委員会までに考えてくる。オンラインの委員会にも慣れたので、今後もオンラインでディスカッションして一人ひとりの意見を聞きながら委員会活動を次年度は4回くらい開催したい。研修会の1回は伊東先生にお願いし、もう1回は委員で考え、メール会議でもよいので意見を挙げる。

研修会のGWで出た意見を共有するということでは、スプレッドシートの活用が良いと思う。以前参加した研修会ではグーグルスプレッドシートを使用していて、どこからでも一枚のシートに書き足せるものなのでとても使いやすかった。事務局とも相談をしながらスプレッドシートが使えるれば成果物としても残り、配布しなくても参加者皆で共有できるので活用できるように検討していきたい。

次回予定	年	月	日 ()	(開始時刻	終了時刻)
					:	~	:

議事録作成日	2022年3月2日	議事録作成者	萩原 洋平
--------	-----------	--------	-------

委員会議事録は理事会資料として提出します。
会議終了後、1週間以内にメールで事務局へご提出ください。〔 提出先：info@rehakyoh.jp 〕